



No.28

生活支援体制整備事業情報紙“てごてご”では、町内の支え合い活動やサロン等のご紹介、平生で生活する上での役立ち情報をお届けします。

～私たちのまち“ひらお”を

私たちの手で住みよいまちに～



## ご報告

## ボランティア講座 開催しました！

この講座は、地域デビューのきっかけや参加者同士の仲間づくり、地域での居場所を見つける一助としていただき、町内のボランティアの輪を広げることを目的として開催しました。町内では様々なボランティア活動団体がありますが、この度、町内で実際に活動されている4名の方から、活動を始めたきっかけや活動を通して感じておられることなどをお話しいただきました。お話しいただいた内容や参加者の皆さんの感想をご紹介します！

藤本美千代さん 三戸智恵子さん（点訳ボランティア てんとうむし）

点訳教室に申し込んだことがきっかけです。

“てんとうむし”のみなさんがあたたかく迎え入れてくれ、

丁寧に教えてくれたので続けることができたと思います。

点字は難しいけれど、活動している時間はとても幸せです。

ボランティア活動に興味のある方、ぜひ今すぐ一歩を踏み出してほしいと思います。



新川陽子さん（みんな食堂 赤子山）



子ども食堂がフームになったとき、平生町にもできたら良いな  
と思ったことがきっかけで、たくさんの方が協力してくださり、  
“みんな食堂 赤子山”を始めることができました。

子どもたちに寄り添える場所にしていきたいです。

ボランティア活動に壁を感じる人もいるかもしれませんが、  
少し乗り越えたらいろいろな人とつながることができます。

裏面に続きます！

## 田代信忠さん（箕山地域おたすけ隊）



自分の住む身近な地域で、生活の中のちょっとした困りごとをお手伝いするボランティアをしています。小さな範囲から始めて、少しずつ広げていきたいと考えています。

最初は人が集まりませんでした。個別に声をかけて仲間を増やしました。大変な活動もありますが、終わった後はとても気持ちが良いです。



自分にもお手伝いできるかもしれないと思った

### ～参加者の感想～



ボランティアについてとても勉強になりました

一歩踏み出すきっかけや  
思いを参考に  
仲間を増やしていきたい

平生町でボランティアの方々がこんなに活躍されていることを初めて知りました

皆さんがいきいきと  
話されているのが  
印象的でした

技術や努力が必要だと思いますが、楽しくやっておられることに感心しました

参加者の皆さまからたくさんの質問があり、活気ある和やかな講座となりました。今後も一歩踏み出すきっかけとなるような講座を開催していきますので、ぜひたくさんの方のご参加をお待ちしています。

## お知らせ

## 取材先を募集しています！



生活支援コーディネーターが皆さんの活動の場にお邪魔させていただき、活動の様子を取材、“てごてご”でご紹介いたします。  
ボランティア活動やサロン活動など地域の皆さまの「こんなことやってるよ」を教えてください！お仲間募集の記事も掲載可能です。  
お問い合わせは、あいあむ（平生町社協） TEL:0820-56-8000 まで



生活支援  
コーディネーター

## 生活支援体制整備事業情報紙



～私たちのまち“ひらお”を私たちの手で住みよいまちに～

発行日：令和7年12月5日（金）  
発行：社会福祉法人 平生町社会福祉協議会  
山口県熊毛郡平生町大字平生村 618-2  
TEL：0820-56-8000  
FAX：0820-56-8020  
E-mail：fukushi@hirao-shakyo.or.jp



HP



@AIAMHIRAO